

学校教育目標	『自立貢献』～夢をもち努力をおしまず感動を共有できる生徒～ (具体目標) 将来に夢を抱き、自ら学び続ける生徒を育てます。(知) 挨拶・礼儀や社会のルールを重んじ、場に応じた行動がとれる生徒を育てます。(徳) 自分や他の命を大切にし、健康な心と体をつくる生徒を育てます。(体) 地域を愛し、自らができることを実践する生徒を育てます。(公) 積極的に挨拶をし、また多くの人とのコミュニケーションを大切にしながら、視野を広げようとする生徒を育てます。(開)				
	学校概要	創立 65 周年	学校長 古木 喜雅	副校長 大字 宏史	3 学期制 一般学級: 15 個別支援学級: 4
児童生徒数: 591 人		主な関係校: 西寺尾小、西寺尾第二小、子安小、港北小、寺尾小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	錦台中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
あらゆる教育活動を通して、自己有用感・自己肯定感を醸成して、集団への帰属意識を向上させ、問題発見・問題解決能力やコミュニケーション能力の向上を目指す。	錦台中学校 西寺尾小 西寺尾第二小	互いに認め合い、自ら行動する子ども 「あいさつは あふれる笑顔の あいことば」というスローガンのもと、学校・家庭・地域で協働して錦台中学校区に生活する子どもたちの健全育成を促進するとともに、基礎学力を高めて意欲的に学習する子を育てる。 ○ブロック内での情報交換を基に児童生徒の実態把握 ○把握した情報から、「生徒に身に付けさせたい力」、「重点的な取り組み事項」等に関する共通理解の推進 ○合同研修会、授業研究会等の開催 ○6年生児童の授業見学、部活動体験等

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員一人ひとりが本校学校教育目標の具現化を目指し、生徒とのふれあいを大切にし、教職員がお互いに豊かにコミュニケーションを図り、「チーム」として機能する活力ある学校づくりを目指します。 ○育成すべき資質・能力を明確化し、「わかる授業」「楽しい授業」の展開を通して、深い学びを目指します。 ○人権を尊重し、互いの良さを認め、「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しい心を持つ」生徒を育みます。 ○相談活動を充実させ、心身が健康な生徒の育成と安全な学校生活を目指します。 ○学校運営協議会や学校評価を生かし、保護者や地域と協働した学校づくりを目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①育成すべき資質・能力を明確化し、研究授業や授業研究等を重ね、「わかる授業」「楽しい授業」を目指して工夫・検討を行う。新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の具現化に向けて、各教科が取り組む。②学習目標を明確にし、学習の過程や成果を適切に評価し、指導と評価の一体化を行う。
担当 学習指導部	
徳 道徳指導の充実	①道徳の授業の充実をはかり、すべての教育活動において生徒ひとりひとりの人権や平和に対する意識を高める。②日々のあいさつを推奨し、他者を思いやる心の醸成を目指す。
担当 道徳指導部	
体 健康教育の充実	①感染症対策に配慮しながら、教室の美化や校内の環境整備に努める。②委員会活動や保健体育科の授業、部活動等における健康教育の充実を図る。③「食育」「性に関する教育」「薬物乱用防止教育」を推進し、健やかな成長を支援する。
担当 保健環境指導部・健やかな体委	
公開 地域連携 小中連携	①小中合同授業研修について小中の情報交換と連携がテーマであることを再確認し、研究授業のあとで、授業・各領域・生徒の情報交換の3本柱をメインにした研修会に内容を変更していく。②総合での探究活動について小学校と情報交換しながら年間を通した学習活動を計画・実施していく。
担当 研修部・学家地連	
いじめへの対応	①アンケートを充実させ、生徒に寄り添うことで、いじめや不登校の早期発見を目指す。②いじめ防止対策委員会を定期的開催し、部署間の連携を深めて、いじめや不登校に対して組織的に対応を図る。③いじめがあった場合の初期対応を大切にし、いじめの被害者への徹底した寄り添いを行う。
担当 いじめ防止対策委	
人材育成・組織運営(働き方)	①メンター研修会を定期的に行い、中堅職員がミドルリーダーとしての意識と実践力を養っていく。②校内研修を計画的に実施し、経験年数の浅い職員と中堅職員が様々な指導場面での指導方法を共有しながら、ともに指導力を高めていく。③教職員が教育公務員として自覚と使命感を持ちながら、働き方改革を図っていく。
担当 研究部	
生徒指導 生徒支援	①生徒と時間の共有に努めるとともに、保護者との連携を図り、適切な生徒指導を行う。②個々の生徒の心情に寄りそいながら3年間を見通した指導を心がけ、報告・連絡・相談を徹底することで、職員間の共有を図り、組織的な指導を行う。③必要に応じて、外部機関連携を迅速に行う。
担当 生徒指導部	
担当	